

〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 250 (通算 575 回)

2013 年 12 月 10 日 (火)

卒業生・社会からの共感をベースに――

大学の寄付金戦略～シナリオと具体方策 Ⅲ

高等教育活性化シリーズ 253 (通算 578 回)

2013 年 12 月 16 日 (月)

家計・進学格差拡大の中で――

学費負担の軽減と奨学金拡充策 Ⅱ

卒業生・社会からの共感をベースに――

大学の寄付金戦略～シナリオと具体方策 Ⅲ

～ 理事会の主要業務／寄付が増えない理由／卒業生サービスの拡充と母校愛／税額控除の活用 ～

- ※ 魅力的業務としての募金事業／実態と諸課題の解決策／経常的募集の 11 の論点／戦略的な推進
- ※ [福岡学院大] 税制改正をテコに～隗より始めよ／法人意思の明確化／給付型奨学金拡充
- ※ [甲南大] 90 周年募金の総括から 100 周年への展望／募金業務従事者の葛藤と募金室の課題
- ※ [早稲田大] 恒常的な財政支援体制の構築／寄付会員「WASEDA サポーターズ倶楽部」の毎年寄付

● 講師陣 ●

- 西野 芳夫 氏 / 関東学院大学名誉教授 元常務理事
日本私立大学連盟 経営委員会委員長
私学経営の在り方研究会主宰
- 西原 邦彦 氏 / (学) 福岡女学院 常任理事・事務局長
- 谷口 純司 氏 / (学) 甲南学園 学園振興募金室課長 広報部広報課・甲友課長
- 大坪 恭子 氏 / (学) 早稲田大学 総長室 募金課長

2013 年 12 月 10 日 (火) 日本教育会館 会議室(東京・神保町)

家計・進学格差拡大の中で――

学費負担の軽減と奨学金拡充策 Ⅱ

～ 留学生(出・受)拡大／増える奨学生給付型奨学金の充実／独自制度の展開／原資確保の実際 ～

- ※ 平成 26 年度概算要求と新たな施策／海外留学支援制度の創設／無利子奨学金の拡大／授業料減免
- ※ [JASSO] 平成 25 年度の奨学金の充実／奨学生の適格認定／返還促進と学校との連携強化
- ※ [南山大] 貸与型・給付型奨学金の同時改革／同窓会・友の会を含む改革／成績重視から困窮度重視へ
- ※ [早稲田大] Waseda Vision 150 の実現／めざせ！都の西北奨学金／キャンパスの多様性と経済支援
- ※ [東北学院大] 東日本大震災被災状況と支援制度創設／給付奨学金との同時進行の実際／今後の展望

● 講師陣 ●

- 渡辺 正実 氏 / 文部科学省 高等教育局 学生・留学生課長
- 石矢 正幸 氏 / (独) 日本学生支援機構 奨学事業本部長
- 藤岡 義高 氏 / 南山大学 学生課 厚生係長
- 鈴木 勉 氏 / 早稲田大学 学生部 奨学課長
- 松田千津子 氏 / 東北学院大学 学生課 厚生係

2013 年 12 月 16 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



[参加要領]

- 高等教育活性化シリーズ 250 **大学の寄付金戦略～シナリオと具体方策 Ⅲ**
 □2013年12月10日(火) 10:00～16:40
 日本教育会館 会議室(東京・神保町) 千代田区一ツ橋2-6-2 TEL 03-3230-2833
<http://www.jec.or.jp/koutuu/> (東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1出口より徒歩3分)
- 高等教育活性化シリーズ 253 **学費負担の軽減と奨学金拡充策 Ⅱ**
 □2013年12月16日(月) 10:00～16:40
 剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町) 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)


参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 250 大学の寄付金戦略～シナリオと具体方策 Ⅲ	41,000 円 (消費税込)	42,000 円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 253 学費負担の軽減と奨学金拡充策 Ⅱ	40,000 円 (消費税込)	41,000 円(送料、消費税込)

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。
 ※開催後に当日配布資料及び音声CDをご送付します。
 ※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたします。
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または Email にてご送付ください。
 ※受講証及び会場地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 郵便振替 : 00110-8-81660
 口座名 (株)地域科学研究会
 (ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 ☆ 同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を創設、KKJのURLにてご覧ください。

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2013年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 250 (□に✓印を入れてください)
大学の寄付金戦略～シナリオと具体方策 Ⅲ □ 当日参加 □ メディア参加
 - 高等教育活性化シリーズ 253
学費負担の軽減と奨学金拡充策 Ⅱ □ 当日参加 □ メディア参加
- 支払方法 □ 当日払い □ 銀行振込 □ 郵便振替
 必要書類 □ 請求書 □ 見積書

勤務先

〒

連絡部課・担当者名

所在地

メールアドレス

TEL

FAX

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
<p>10:00 }</p> <p>12:00</p>	<p>□ 経常的な寄付金募集推進に向けた11の論点 ～ 私大連報告書『戦略的な寄付募集事業推進のために』を踏まえて～ 関東学院大学 西野 芳夫</p> <p>はじめに 体験的募金事業論 ～募金事業は創意工夫により成果の上がる魅力的な業務である</p> <p>I 募金事業の実態と諸課題の解決に向けて</p> <p>1. 寄付金収入の実態 (1) 寄付金収入の推移 ①大学法人全体の推移 ②地域、規模別の特徴 (2) 卒業生からの寄付の実態 (3) 自己評価による目標達成度～調査結果から見た実態</p> <p>2. 募金事業推進のために取り組むべき諸課題とそれらの解決策(大学法人内部の問題) (1) アンケート(私大連加盟校)に見る大学法人の募金事業への取り組みの実態 ①経常的寄付募集への取り組み状況(周年記念事業を除く) ②担当部署の多様性 (2) 募金事業推進のために取り組むべき諸課題とそれらの解決策</p> <p>3. 募金事業を取り巻く環境の変化(外部環境の問題) (1) 中央教育審議会大学分科会の審議の意味するもの (2) 寄付をめぐる環境の変化</p> <p>II これからの募金事業の在り方</p> <p>1. 募金事業のパラダイム転換～戦略的募金事業の基本的前提-目的と効果の区別 (1) 収入源の多様化という考え方 (2) 支持者層の構築という考え方</p> <p>2. 寄付者の《共感》を獲得する募金事業 ～戦略的募金事業の取り組みに必要な2つの基本的な問い (1) 人はなぜ寄付をするのか (2) 大学はなぜ募金事業に取り組むのか～真の目的は何か (3) 卒業生をターゲットとした戦略的な寄付募集の方法</p> <p>3. 大学改革と募金事業 (1) 財政基盤の確立と大学改革の推進 (2) 大学改革と社会の評価 (3) 募金事業は社会とのコミュニケーションをとる重要な手段 (質疑応答)</p>
<p>13:00 }</p> <p>14:20</p>	<p>□ [福岡女学院大] 税制改正をテコにした寄付金戦略のシナリオと実際 ～ まずは「隗より始めよ」～ 福岡女学院 西原 邦彦</p> <p>1. 教職員からの促進 (1) 教職員で税額控除の要件を満たす努力をし、寄付者のメリットを担保する (2) 給与天引きの導入 ⇒ メリット: 継続性の高さ (3) 事務職員 100%参加の仕組み作り</p> <p>2. 法人の意思の明確化 (1) 収入原資の多様化施策の一環として、恒常的な募金活動の取り組みを検討 (2) 元理事遺族による多額の寄付～奨学金の原資とすることを承諾 (3) 学内横断的寄付金ワーキンググループ (4) 目的を奨学金に定める</p> <p>3. 給付型奨学金制度の拡充 (1) 貸与型奨学金の返還滞滞者増加の問題 (2) 家計急変等による退学者の救済 (3) 給付型奨学金の拡充の必要性の高まり</p> <p>4. 今後の課題 (1) 教員の参加率をいかに高めるか (2) 寄付者顕彰制度の確立 (3) コスト対策をどう考えるか ex 送金手数料の無料化 (4) 免税の手続き 確定申告 ⇒ 源泉徴収化 (質疑応答)</p>
<p>14:30 }</p> <p>15:30</p>	<p>□ [甲南学園] 90周年募金の総括と100周年に向けての展望 ～ 募金業務従事者の現場から～ 甲南学園 谷口 純司</p> <p>1. 甲南学園(甲南大学)の歴史的背景 (1) 旧制高校からの一貫性として (2) 経済界で活躍する多くの卒業生</p> <p>2. 90周年募金活動について (1) 組織つくりと募金趣旨説明 (2) 教職員への募金活動 (3) 卒業生・卒業生団体への募金活動 (4) 法人への募金活動</p> <p>3. 100周年に向けての募金室の課題 (1) 90周年募金の反省点と募金業務従事者の葛藤 (2) 100周年に向けての恒常的な募金組織の構築 (3) 五学園募金業務懇談会の設立 (質疑応答)</p>
<p>15:40 }</p> <p>16:40</p>	<p>□ [早稲田大] 「世界へ貢献する大学であり続けるために」常時資金獲得体制の構築を目指して ～ 寄付会員制度「WASEDA サポーターズ倶楽部」による毎年寄付～ 早稲田大学 大坪 恭子</p> <p>1. 早稲田大学の募金戦略 (1) 早稲田大学における募金の歴史 (2) 歴史から学ぶ未来の姿 (3) 具体的目標 ～ Waseda Vision 150 について～</p> <p>2. 「WASEDA サポーターズ倶楽部」とは (1) 前進となる「早稲田大学後援会」の誕生 (2) 「WASEDA サポーターズ倶楽部」への進化 (3) 「WASEDA サポーターズ倶楽部」の制度概要</p> <p>3. WASEDA サポーターズ倶楽部の現状と未来 (1) 現状 (2) 課題 (3) 今後の展開 (質疑応答)</p>

時間	講義項目
10:00 } 11:00	<p><input type="checkbox"/> 学生への経済的支援施策の展開 ～ 平成26年度概算要求と今後の施策の展開について ～</p> <p style="text-align: right;">文部科学省 渡辺 正実 (質疑応答)</p>
11:10 } 12:20	<p><input type="checkbox"/> 日本学生支援機構奨学金の充実と学校との連携</p> <p style="text-align: right;">日本学生支援機構 石矢 正幸</p> <p>1. 平成25年度の奨学金の充実 (1) 機構の概要について (2) 平成25年度の事業規模 (3) 奨学金の種類と貸与基準(平成25年度)</p> <p>2. 奨学金事業と学校との関わり (1) 奨学生の採用について (2) 学校における適格認定</p> <p>3. 返還促進に向けた取組と学校との連携強化 (1) 返還状況と具体的な取組 (2) 学校との連携強化について (質疑応答)</p>
13:20 } 14:20	<p><input type="checkbox"/> [南山大] 独自奨学金の制度改革～成績重視から困窮度重視へ ～ 貸与型・給付型奨学金の同時改革 ～</p> <p style="text-align: right;">南山大学 藤岡 義高</p> <p>はじめに 奨学金改革のプロセス～2007年から13年</p> <p>1. 給付型奨学金改革の構想と実際 (1) 南山大学の給付型奨学金の概要とその問題点 (2) 同窓会・友の会を含めた制度改革 (3) 今後の展望</p> <p>2. 貸与型給付奨学金の改革 (1) 南山大学入学時奨学金の廃止 (2) 南山大学随時奨学金の改革 (3) 奨学ローンの導入</p> <p>3. 入試成績による奨学金制度改革 (質疑応答)</p>
14:30 } 15:30	<p><input type="checkbox"/> [早稲田大] 大学の戦略と奨学金政策 ～ Waseda Vision 150の実現に向けて ～</p> <p style="text-align: right;">早稲田大学 鈴木 勉</p> <p>1. めざせ！都の西北奨学金～今後の展望と課題 (1) 入試前予約採用給付奨学金の概要 (2) 6年目を迎える「めざせ！都の西北奨学金」 (3) 今後の展望と課題</p> <p>2. キャンパスの多様性と経済支援 (1) 多種多様な人材が集うキャンパス (2) 外国人留学生を対象とした奨学金 (3) 国際学生寮 WISH の開設</p> <p>3. 給付奨学金の拡充と財源の確保 (1) 返還を要さない給付型奨学金の拡充 (2) 家計急変に伴う緊急奨学金の充実 (3) 財源の確保と課題 (質疑応答)</p>
15:40 } 16:40	<p><input type="checkbox"/> [東北学院大] 地方大学としての奨学金拡充策 ～ 東日本大震災に関する奨学金との同時進行の実際 ～</p> <p style="text-align: right;">東北学院大学 松田千津子</p> <p>1. 東北学院大学給付奨学金 (1) 給付型奨学金創設の経緯 (2) 制度の概要</p> <p>2. 東日本大震災被災学生支援制度 (1) 本学の被災状況と支援制度創設の経緯 (2) 制度の概要</p> <p>3. 同時進行の実際 (1) 1年目(2011年度) (2) 2年目(2012年度) (3) 3年目(現在)</p> <p>4. 今後の課題と展望 (1) 奨学金制度全体の見直し (2) 新たな奨学金の創設とそれに伴う問題点 (3) 本学における奨学金制度の展望 (質疑応答)</p>